

第5回「文芸思潮」新人賞 中間発表

●第5回「文芸思潮」新人賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。心から御礼申し上げます。去る四月三〇日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。

- | | | | |
|-----------------|-------|---------------|--------|
| ○「リセット」 | 池上洋平 | ○「宇宙交尾」 | 麻木春希 |
| ○「羽黒蜻蛉」 | いつき | ○「追憶の林檎」 | 有原野分 |
| ○「午前二時のレストラン」 | 染夜美月 | ○「素数ゼミ」 | あずき |
| ○「志の放棄」 | 安本海志 | ○「他人留学」 | 桜申あや |
| ○「狐の嫁入り」 | 角谷美和 | ○「30で死ぬということ」 | 岡本択 |
| ○「スパークル・フェロー」 | 縫野裕知 | ○「卒業式」 | 木村恭一郎 |
| ○「ボック氏の去勢」 | 井戸良典 | ○「痛みを辿って」 | 阿彦美咲 |
| ○「アレクサンドリア図書館」 | 龍子狸庵 | ○「めざめ」 | 水谷忠央 |
| ○「凍死」 | 龍泰 | ○「青」 | 小村詩穂子 |
| ○「できなくてもいいから」 | 西山麓 | ○「アダム翁」 | 火水イリイ |
| ○「画布と視線」 | 真木ダイク | ○「吸安の首」 | 宝也 |
| ○「最後の味噌汁」 | 平山百華 | ○「治安の悪い街」 | 杜崎まさかず |
| ○「タキオンの彼女」 | 齊藤航希 | ○「怒」 | 宇部道路 |
| ○「姉を世話する」 | 兼板祐太郎 | ○「月落ちる、されど」 | 夏海 咲 |
| ○「テラリウム」 | Amano | ○「クモの巣と羽」 | 岡本夜霧 |
| ○「嘔吐」 | 金子光輝 | ○「夕と藍」 | 櫻井一美 |
| ○「やわらかにお眠りください」 | 乾あまぐつ | ○「彼女のシネマ」 | 仙波寛人 |
| ○「愛、ときどき肉団子」 | 千葉紫月 | ○「予備校生Sの妄想録」 | 成川智也 |
| | | ○「海は月夜に神と笑う」 | 未来屋環 |
| | | ○「君がうたった雨の方へ」 | 柳瀬多佳 |

■応募者の皆様へ 第一次・第二次・第三次の選考について

「文芸思潮」銀華文学賞・新人賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次の選考基準は、他者に伝わる文章になっているかどうかが最重の基準点となります。また書く姿勢を加味させていただきました。少し文章が粗くても、他者に訴えたい切実なものが感じられる作品は一次通過しています。また逆に文章は整っていても、書く姿勢が曖昧なもの、書く必然性が希薄なもの、中途半端なものは落とさせていただきます。この二点をクリアしたものが一次予選通過者です。何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。

したがって、応募者全員が一次予選合格ということもありません。また第二次予選は、その中でさらに強く何かが感じられるもの、光るものが選ばれます。何かが読み手の中に残っている作品ということになります。一行でもいい、一人の人物でもいい、見方でもいい、何か一つ心に残るようなものがあると、上に

拾い上げたとくなるという、一つの魅力を持つていかどうかポイントになります。

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしくなるような普遍的な力を備えているかが、選考の基準になります。第三次予選まで通過した作品は、ほぼ雑誌に載っていい、人に読んでもらっても何か訴える力を備えていて、読んだ人の心に何かが残って新たな力になるような作品です。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性を重視して作品数によって制限するのではなく、作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんの作品が三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださいますようお願い申し上げます。またご自身の文章力が具体的にどれくらいレベルか、文章力検定も併せてご利用いただけましたら、文章技量向上の一つの目安になると思います。

(銀華文学賞・新人賞選考委員会)